

様式第2号

視察研修先	神奈川県茅ヶ崎市議会	氏名	沖津 一博
視察研修項目	1. 一般質問における重複質問の調整について 2. 各委員会での政策討議について		
感想・所見など			
<p>1. 一般質問における重複質問の調整について</p> <p>茅ヶ崎市議会では、平成13年度から会議録検索システムを導入し、本会議・委員会の会議録をインターネット上で検索可能に、平成17年からは、より開かれた議会を目指し、本会議のインターネット中継を開催、さらに、平成28年から、委員会及び特別委員会の中継も開始しました。また、傍聴規定を改定し、傍聴受付票を廃止し、氏名・住所の記載を不要としました。</p> <p>茅ヶ崎市議会では、平成26年から一般質問の一問一答方式を導入しましたが、現行の一括方式との選択制としております。寒河江市議会でも、選択制の方が質問しやすいのではないかと思います。</p> <p>次に、重複質問調整について、質問は住民を代表して行うものですから、前の議員が質問した事を後の議員が発言するのは考えられない事です。議長若しくは、議会運営委員会で重複質問の調整を実施。しかし、風水害など、どうしても、重複しやすいものは、切り口を変える。再調整をする。仮通告（項目のみ）後に、重複質問の調整をし、本通告とし、さらに、本会議の日程は、本市とは全く違い、予算・決算特別委員会が終わってから、一般質問を行っております。寒河江市議会では、予算・決算特別委員会の内容と一般質問が重複しないよう、一般質問を先に行っている状況ですので、これを変えていくことは、時間がかかりそうです。さらなる議員各位の意識改革が必要であります。</p> <p>2. 各委員会での政策討議について</p> <p>次に、政策討議について、議会による政策立案、政策提言を平成26年から取り組み、実施5回。各常任委員会の任期中に、テーマを選定し、調査研究を重ねて、委員会で作成。全員協議会を経て、議長から市長へ提言するもので、活気ある内容でした。</p> <p>茅ヶ崎市議会の皆様、大変お世話になりました。</p>			

様式第2号

視察研修先	茨城県取手市議会	氏名	沖津 一博
視察研修項目	1. オンラインを利用した議会運営の取り組みについて 2. ICTを活用した市議会の危機対応の取り組みについて		
感想・所見など			
<p>1. オンラインを利用した議会運営の取り組みについて</p> <p>取手市議会では、オンラインの活用が進んでおり、委員会はもちろん、市民との意見交換や市の魅力的なまちづくりに、自宅からパソコンやスマートホンで参加出来る。事前登録が必要で、QRコードから登録できます。現在、コロナ禍の影響により、密になる会議が出来ない状況にあり、オンラインを進めていく必要があります。出来るだけ経費を押さえて、寒河江市議会でも取手市議会を見習い進めるべきと思いました。</p> <p>2. ICTを活用した市議会の危機対応の取り組みについて</p> <p>次に、危機対応の取り組みについては、会議、現地視察、広報、災害対応、研修、ペーパーレスなどの取り組みをしています。オンラインによる事前説明の様子を見る事が出来、また、現地視察では、担当課職員、議会事務局職員が現地に赴き、委員はタブレットで、前年度予算で実施した公共施設改修工事箇所や問題個所の現地調査を実施している。360度カメラにより、現地の様子を見る事が出来ます。</p> <p>また、ICTを活用した議会災害対応訓練の実施においては、安否確認、市議による情報収集や共有タブレットでの現場写真の撮影を行っている。GPSのONにより、位置情報が記録された画像をGoogleマップに落とし込み、Zoom会議を行うもので、大変勉強になりました。</p> <p>取手市議会及び議会事務局の皆様へ感謝し、報告といたします。</p>			